時事新報

歐洲列國の大勢(前號の續き)

佛蘭西の政略

佛蘭西が歐洲大陸の諸國に對する關係は今日決して主戰の主義あらず國中有力の政治家も概ね平和論者よして加ふるに現在の共和政治は容易に開戰を許すべきよ非ざれば日耳曼との不和葛藤も干戈ほどの大事變に至らざるならんとの次第は前號の紙上に記したり是れは大陸の形勢論なれ共佛國は右の外よ英國とも當時事端を構へて其爭ひの不容易なりと思はるゝは例の埃及事件にして抑も數年以前佛國は英國同樣此國の內政に干渉しゝりしに共同管理權の分裂以來全く其手を引去りて復た再び埃及に主權を有する能はざるに至りたるは佛國體面の耻辱なり若し此れが三四十年前の出來事なりせば雙方干戈を動かして由々しき變亂よ立ち至りたるも知る可らず蓋し英佛の間には埃及の外尙ほ葛藤の種子なきにあらず例へばマダガスカルの占領の如きも英國の側より考ふれば佛國の所行驕慢無禮ならざるなく幸ひに馬嶋と英國との間に電線なく當時の事情英人の耳に入ると迅速ならざりしが爲め戰爭の破裂と免れたれ共ユニオン　ジャッケットの英國旗が馬嶋に旗色を失ひたるの一事に對しては憤怒の念今に已まざる所なる可し或は又佛國がニユーヘブリッジ嶋(太平洋の中)を併吞したる事件とても其實は大膽にも英國を凌で世界殖民地の大王と自稱する其鼻を挫折したる擧動にして兩國國際の和親を助くるものに非ず其他英佛二國の間殖民地の爭ひはこきに止まらずして孰れも不和紛擾の禍因なれ共埃及事件に較べては尙や小變にて物の數ともそるに足らず蓋し歐洲列國の眼前、僅か一衣帶の地中海を隔てあがら獨り埃及に容喙する能はざるは世上の所評に掛けて佛蘭西の三色旗面目なしと云はるゝも辨解に窮することなからん之を思へば戰爭は勢ひ起らざるを得ざる道理なれ共佛國の實際に於ては決して之が爲めに兵を用ゆる意なき其次第も初先手を引きたる時にも英國は敢て恣に埃及を占領したるに非ず共同占領の策を佛國に通告して佛國當時の內閣も之に同意を表し彌々聯合事と爲さんとするに臨み佛の議院が其費用を吝んで事遂に敗れたるものなれば卽ち自家の得心づくにして獨り英國を咎むべきに非ず若しも佛國にして斷然英國と戰端を開くの覺悟ならば今日まで共議會一にして足らざる者を自ら撰んで取らざりしは卽ち佛國の內情平和を欲するの明證にして表面の議論兎角激昂に見ゆる共實先に平和を破るやどの勢なからんとは思はれざるなり又事實佛國が埃及の內政に干渉せんとの考ならば今日にても明日にても突然地中海の彼岸に兵を送り英國と和親英國を表すると名義として永續埃及を占領するの策容易なる可きに策の此に出でざる所以の故なるや尙は其他に英國を苦むるの手段と考へらるゝは英國より輸入の貨物を防ぐが爲め佛國の紡績業に必要なる木綿絲の類を除き其外の海關稅額を引上げて英商を苦ましむるも一策なり佛國の必要品は白耳義日耳曼の諸邦國に仰ぐも一切差支あることなければ此策を行ふて英國に怨を霽らすの工風あるべきに今日に至るまで事實に之を行はずして唯漠然と口にのみ埃及事件を喋々するは以て眞實戰爭を好むものに非ざるの證據として違ふことなかる可し

然らば當時埃及を占領せる英國兵隊の引拂ひは佛國の注文通り果して年を期して行はるべきものなりやと云ふに是非曲直の議論は兎も角も我輩の所見、佛國がますます喧しく此事を論ずれば英國はますます首を振りて引拂を承諾せざる者ならんと推測せざるを得ず初め英國が兵を埃及に送りたるはスーダンの一揆を鎭滅せんが爲先にして亂鎭らば直に引拂ふ都合なりしも其後ち秩序を維持すべき段に至り土耳格政府はその領內に埃及藩王をして兵を聚めしむるの議に抗したれ共去迚土耳格の兵師を以て埃及を守衞するには足らざりし處より英兵其儘に殘りて占領の姿と變じたるは勢ひ已む可らざるに出でたる者なり斯る次第なれば英國が若し埃及を併吞せんとあらば之を行ふに一も二もなき話しなれ共最にグラッドストン氏の執政中、氏は斷然て之れに反對を却て其兵を引上げ纔て三千にまで減ずるの主義を公布し今のソルズベリー侯の內閣に至りても亦之を變更せず卽ち英國の精神は飽くまで平和に基くものなりと雖も全く埃及を放棄して一兵も其土に留めざるに至るまでには尙は幾何の時月を要するとり其返答には苦まざるを得ざるなり且つ佛國今日の關係より論ずるに伊太利は寧ろ英國の味方にして墺地利も亦決して佛國に與するものに非ず日耳曼英國の間柄は近來までも兎角に折合はず既往三年れ其間ビスマルク侯は絶えず英國の埃及政策を悅ばずして時み佛國に結んで英國に抗するの色もなり其他コンゴー事件ニユーヘブリッジ事件に關しても佛國の後援を爲すの姿なりしに日耳曼がザンジバルの占領以來其趣一變し且つ偶然にも英國には保守黨の勢力を得たる事情ありて其き此きの處より英日の關係も稍や親密になりたるに今日に當て佛國が若し英國れ埃及占領に故障をて激に之に抗するともならば英國は現在中立の位地を變えて伊太利と相率ゐて日耳曼墺地利に連合するの危險なきと期す可らず是れ佛國の弱點にして其英國に向て反對の働を斷行する能はざる由縁と知るべし唯露國がバルガリヤ事件に佛國の味方を恃まんと欲して自國には關係のなき埃及事件にまで聲援し、佛國も亦露國の交を利して暗に英國を威さんとそるの考へなきにしも非ざる可けれ共元來建國の利害根本を異にしたる兩國民が眞實相結んで他の諸強國を相手にそべき謂はきもあれ其上に更らに佛國の困難とする所は殖民政略の結果として歐洲外の地方に其國力と浪費すると莫大にして之が爲めに歐洲部內に伸ばすべきの勢威次第に減縮するの一事に在り例へば現在佛國及びアルジェリヤの兩地を除き政府が殖民地に消費そる金額は海軍費を別にして一人平均一磅(凡我六圓)の割合なれ共英國殖民地の同じ其費用は每人二片(凡我五錢)なりと云ふ單に此一例にても當時佛國の狀勢歐洲中の一強國を斷然敵よそる能はざるの趣を知るべきなり

(未完)

雜報

○合衆國の進步　合衆國の進步の非常なるは世人の既に知る所なるんが近着の米國新聞に記する所を見るに千八百六十年に於ては既に開發して其價直を定め得べき合衆國財產の總計は百六十億弗なりしに其翌年に始まりて數年間打ち續きたる彼の內亂の爲め此財產の大半を破壞したれども今日は其財產既に六百億弗に達し殆んど全歐洲諸國總計財產の半額に等しく又其進步の割合は一日七百萬弗なりと云へば其進步れ迅速なる其財產の廣大なる實に余輩をして一驚と喫せしむるに足ると雖ども一步と進めて土地鑛山等の既に開發したる者及び其未だ曾て手に觸れざる者の廣大なると一考せば合衆國將來の盤大は略ぼ之を推知するを得べきなりハーバード大學のドクトル　ハート氏が過般米國統計協會に呈出したる統計に據るに合衆國の全領土は三百五十萬零千四百零九平方英里にして其內百六十一萬六千百零一平方英里卽ち全領土の殆んど半分は未だ賣却せずして尙は政府の手中にあり而して此の廣大なる土地は之れと開墾すれば地球現在の全人口十五億の倍數卽ち三十億の人口を住せしむるも決して狹しとせざるなり又人口の點より之を考ふるに合衆國現在の全人口は六千萬前後にして若し每三十年に二倍するものとそれば千九百十七年には一億二千萬となり千五百四十七年には二億四千萬となり二千零六十七年卽ち今より百八十年目には卅八億四千萬となるべし已に人口の斯く增加するに至れば一平方里の人口凡そ一千人となり衣食を得ること困難なるが故人口の增加底止そるか或は他に移住せざるを得ざるに至るべしと雖ども一方に於て理學の發明、人智の發達は非常の速力を以て進步し來り亦將來益々迅速の進步と爲すべければ今後衣食の上に如何なる發明工夫あるや未だ測知そべからざるなりと云へり

○鼠の統計　佛國巴里れ或る衛生委員が鼠の統計を調べん爲め十年間も盡力し遂に寺院市場及び柔皮屋等に於て年々殺したる鼠の數は百七十二萬疋前後なることと發明したりと云ふ

○議員懇親會　日本橋區々會議員諸氏は一昨日午後三時より同區蠣殼町二丁目福井樓に於て懇親會を開き伊藤區長にも臨席したりと

○會計軍吏學舍　麹町區土手三番町に新築中なりし同學舍は落成せしを以て兩三日中同所へ移轉し曩に近衛及各鎭臺より募集せし會計書記四十餘名の教授を始むるといふ

○二八月　古來俗間に二八と稱へて二月と八月とは風雨共に荒々しく河水溢れ海上穩かならざる厄月として旅行航海杯は成るべく此兩月を避くるの舊慣なりしは普く人の知る處なるが商賣社會にも古昔より二八の閑月とか稱ふる通語ありて此兩月は萬般の商賣殆んど休業なるが如きものありきと謂ふ其次第は別儀あらず內地の商賣は通例一月と七月卽ち正月と盆との二期が一年中最も盛んなるものなれば各商家は豫て其心得なるより十二月頃より其仕入を爲して正月取引の用意を整へ又六月頃より盆商賣の事を計畫そるが故に此の商賣繁昌多忙の一月、七月の翌月は常に其餘響にて自から賣方買方とも靜穩閑暇となりしものなりとか左れば明治維新の後陰曆を廢して陽曆と爲まし盆と云ひ正月と云ふも昔れ如く世人の物珍しく立騷ぐが如きなきとの殆んどなきとも云ふべき今日に於ても舊慣は依然として猶や商賣社會を脫せず今に二月と八月とは賣買の取引一般に沈靜するなどにて已に東京れ如きも先月來市場の兎角引立ち離きの模樣あるは矢張此れが爲めなるもの多かるべしと去る人と語りき

○螟蟲驅除　府下南足立郡の各村は稻穗に白穗等多く殊に出來榮も勢力なくして何となく病のつきし樣子に付去る六日農務局より小野孫三郎氏を派遣して同局の試作地を熟見せし先だるに悉く螟蟲の發生して稻の莖幹等に喰ひ入りし一莖に十五六疋位ひを發見したり然る

に近傍農民は無…
せしめたるに農…
時は稻は悉く…
以て驅除するに…
藁を用んとあら…
螟蟲は蛹と化し…
粒れ卵を殘し…
至るものあり…
に持參して宮…
へも廻はして…
よし

○新製の擔…
來種々の工風…
郡に於て華氏…
新に製造したる…
大なる箱を造…
を藉りて乾燥…
は一日凡そ六…
工風を加へ愈…
莫大の食擔と製…
食擔を天日製…
るが品質は至極…

○山口通信 (…
尉は教導團生徒…
長州萩に於て國…
縣廳議事堂に於…
を執行せり氏は…
大島外二郡の…
習所　同所は…
も落成して已に…
生徒を募集する…
原氏其他諸氏の…
け是迄醫師社會…
を投して高價の…
擧は一朝地に落…
を設け九月より…
旁は醫書研究…
く準備も整ひ…
縣支會の…
たる山口…
生徒の試…
高等小學…
は吉敷郡…
其講事は…
百出にて…
のあり…
力に及ば…
(防長二州…
縣下人民…
て先つ之…
とに可決…
ては夙に…
民を實施…
着なる樣子…
拘はらず…
地多く自…
して沿海の地…
去廿三日佐…

正教講說　九月十一日午後二時　聽聞無料
信ノ必要
救ヲ得ルハ望ニアリ
神ヲ知レル方法
主教 ニコライ
佐藤秀六
水野

私共昨八日米國へ出發ノ節ハ遠步ノ處態々御見送リ被成下難有奉厚謝候乍略儀此段以新聞紙上御禮申上候也
九月九日
製紙會社　大川平三郎

本館ハ今度女學部ヲ設立シミスジョンソン及內外ノ女教師ヲ以テ英語編物裁縫其他必用ナル學科ヲ教授ス詳細ハ本館ニ來リテ知ル可シ
芝區南佐久間町二丁目一番地
私立英學館　女學部

●文部省… 高等小學讀本 …
東京神田區…